

コース名：東京の森と都市をつなぐ“木育”普及プロジェクト・インターン

■受け入れ団体：株式会社東京・森と市庭（いちば）

■担当教員：小島 聡

■内容：

2019年3月9日・10日 UR都市機構と良品計画（無印良品）が主催する集合団地の防災イベント「団地キャラバン in 町田山崎団地」での木育体験コーナーの企画・準備・運営等を中心に、生産加工補助、営業補助等。



■受け入れ人数：3名

<勤務場所>

■奥多摩本社・製材加工所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川 1075

（奥多摩駅から車で5分）※新宿駅から奥多摩駅までは中央線・青梅線乗り継いで約2時間、片道1,080円。

■六本木オフィス：東京都港区六本木 7-3-13 トラスティ六本木ビル 5階

（六本木駅から徒歩5分）

■町田山崎団地：東京都町田市山崎町 2130 番地付近 （町田駅からバスで15分）

■スケジュール（9日間）※日程や内容が変わる場合もあります。

【2月】

13日（水）オリエンテーション@奥多摩本社

14日（木）企画検討会議@六本木オフィス

20日（水）企画決定会議@六本木オフィス

21日（木）団地キャラバン材料調達@奥多摩本社・社有林

27日（水）団地キャラバン準備@奥多摩本社

【3月】

8日（金）団地キャラバン前日準備@町田山崎団地

9日（土）：団地キャラバン本番@町田山崎団地

10日（日）：団地キャラバン本番@町田山崎団地

13日（水）：振り返り会@六本木オフィス

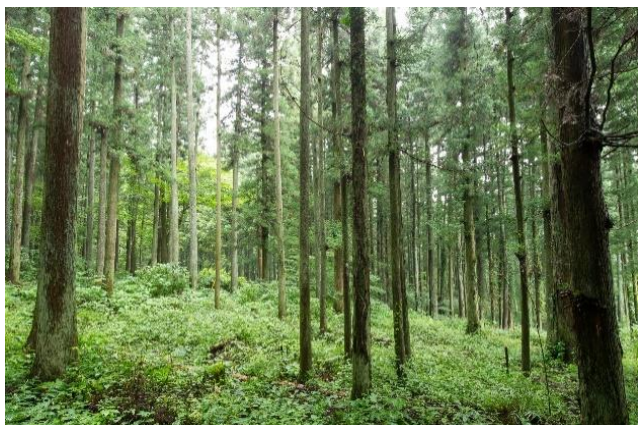
<昨年度の団地キャラバン当日の様子>



<昨年度キャリアチャレンジ参加者（2名）>



<東京・森と市庭のフィールド>



おくたまの森（社有林）



奥多摩湖（小河内ダム）



製材加工所



多摩産材



奥多摩本社



六本木オフィス

森とあそび 木とくらす



東京・森と市庭
MORI & ICHIBA TOKYO

担当：菅原和利

携帯：080-7735-4393

MAIL：sugawara@mori2ichiba.tokyo.jp

WEB：http://mori2ichiba.tokyo.jp/

■東京・森と市庭について



2013 年 4 月に奥多摩の地で 江戸の昔から森を育ててきた林業家と、住宅やオフィスなど都市の暮らし関わるまちづくりコンサルティング会社、WEB 不動産仲介会社などと共に株式会社東京・森と市庭を立ち上げました。

私たちの使命は東京の都市と森をつなぎ、持続可能で豊かな森と都市をつくっていくことです。無機質な都市空間の中に東京の木を取り入れることができる商品を自ら製造・開発しています。また、奥多摩の社有林を活用した様々な林業・木育体験プログラムを開発し、保育園児から企業人まで森林について学ぶ研修・体験プログラムを提供しています。

■担当プロフィール（法政大学人間環境学部 2010 年卒）



菅原 和利

株式会社東京・森と市庭 営業部長

1987 年生まれ、神奈川県小田原市出身、東京都奥多摩町在住。

在学時は関口ゼミ（哲学）、CES ゼミ（千代田区環境政策）、水と緑フォーラム・HOSEI（地域づくり）、SEET（環境教育）、オープンキャンパス学部企画スタッフ、市ヶ谷ボランティアセンター立ち上げなどに関わる。在学時から奥多摩町でまちづくりに取り組み、卒業後は同町へ移住。

空き家のシェア別荘化事業やアウトドアウエディング事業などを行う地域プロダクション会社を 23 歳で起業。その後、2013 年に株式会社東京・森と市庭の立ち上げに参画。

同社では保育園向けに東京産の杉・檜を活かした商品開発・営業や奥多摩での林業・木育体験などを担う。